

と き 2019. 07. 24 (水) 晴れ・蒸し暑い  
コース 石廊崎港～石廊崎～あいあい岬～中木～南伊豆歩道～入間 (いるま) ～海蔵寺 (昼食)  
距離 約13km (南伊豆歩道は難路)  
参加 15名

当初、高温予報で延期のお知らせ。その後、最高気温が29度になり、会員の強い要望があり実施。それも有り参加者がやや減った。結果は、モーレツな暑さに閉口。ただ、ハマボウとユウスゲは、素晴らしかった。

ウオーク前に、今満開であろうハマボウを吉佐美・大賀茂川に見に行った。予想はドンピシャで満開のハマボウを堪能した。皆さん大いに喜んだ。



ハマボウ

前回最終の石廊崎港から出発。早くも汗がしたたる。以前あった「ジャングル・パーク」は、「石廊崎オーシャンパーク」に変わった。相当、お金を使ったと思うが閑散としていた。係りの男性2名が暇そうにしていた。

広大な駐車場は、自家用車500。駐車場が有料では寄っていく方は少ない。結局、10年もす





大賀茂川堤防

れば、また閉鎖だろう。

石廊崎灯台下でオジサンが朝の清掃。聞けば、南伊豆町でここを管理している所の事務局長さんだった。しばし、世間話で盛り上がった。

以前あった大きな灯台（灯台ではないが）みたいな気象観測塔は既になくなっていった。オジサンにも、駐車場有料を話すと、「そうだ、そうだ」といった。地元もそう思っている訳。石廊崎はなかなか素晴らしい。綺麗な海と風化現象が荒々しい岩壁が見事。ここには熊野神社もある。







灯台

上り返し県道に戻る。ピカピカの岬への進入道路と未だに撤去されていない、昔のお化け屋敷みたいな廃屋が実にチグハグ。数多かった「野良猫」はいなくなった。

あいあい岬で「ゆうすげの丘」に上る。ただ、ユウスゲは、夕方開花するので、昼はややしぼんでいる。それでも広大なお花畑は見事。売店に入り「ソフトクリーム」「アイスモナカ」を楽しんだ。



ユウスゲの丘



眼下の海は、大根（島）を始め、大小の島が点在していた。波が穏やかで太平洋に突出した海は正にキレイだった。目を凝らすと大根の手前の島に沢山の海水浴客がいた。賑やかだった。しかし、ここは陸路で行けない。実は中木から渡し船が出ていた。

売店のオネエさんの話では、1日＝2000円という。1日というのは何回乗ってもイイそうだ。理由があった。島にはトイレがないので、トイレの際、中木に戻るそうだ。ただ、「小は海でやっちゃうね」と返したら、「そうね」と笑っていた。



大きいのが大根（島）



渡し船

中木に下る。「中木上」のバス停からショートカット。中木港は、前述の海水浴客で溢れていた。平日だが凄い人出。車は殆ど首都圏だった。

港は、ジオの柱状岩壁とか見どころが多いが、このところの大雨で土砂が崩れ通行止めだった。仕方がないが諦めた。

予定では中木で昼食。そんなことで時間が余ったので、昼前に入間への南伊豆歩道を歩く。太陽は真上から容赦なく注ぐ。湿度は100%。セミが五月蠅い。昨日まで雨だった歩道はグズグズ。この「熱地獄」にウォーキング??！海水浴でしょ～う！！



念仏岩



歩道

この暑さでも余り感じない会員がいらっしゃるようだが、ちょっと変。年齢を重ねると暑さを感じ



なくなるというが、それですかね～??(´艸`)

歩道は1時間半かかった。滑ったり、尻もちをついたり、転げ落ちた方もいたが、兎に角、入間に無事着いた。日陰がないので、伊豆礼所で世話になっている海蔵寺に寄った。その時、地元の強面のオヤジが来て、バス駐車代金10000を請求された。ドライバーは予算がないで、突っぱねたが、喧嘩はイヤだから大人しく支払った。



海蔵寺

境内が綺麗になった

突然来訪の海蔵寺だったが、女性の住職代行さんは歓待だった。境内で良かったが、本堂に冷えた茶を用意してくれた。ウオークは巡礼の仲間も多いので、食事前にお勤めをした。経本はないが、般若心経は完ぺきに暗記している。ま、12年の実績・成果だろうか。

ウオークはここで終了なので、ユックリ昼食を済ませた。余りの暑さか、ビアを4本やってしまった。それでも尿意は全くないから、やっぱり大汗だったのか。

食後、代行さんとお話し。彼女は住職の義娘。住職夫婦には子供はなかった。3年前、ユニークだった義母が亡くなり、義父は病気がちで動けない。この日も用事があると「オ～イ、オ～イ」と声を掛ける。

それまで埼玉に住んでいた。義娘だが父母は父母。こちらに来た。旦那・子供達は、週末にやって来る。以前は、やや荒廃していた寺だったが、最近はキレイ。旦那が毎週、頑張って整備しているという。

寺は京都・清水寺と懇意で貫主（かんしゅ）が時々来て話をする。そういえば、あいあい岬に県知事・川勝平太の言葉の額があったが、寺の口利きで、あの有名な貫主が書いたという。

埼玉では10名の里親を担ったという。そして里親をした1名が現在、清水寺で修行中。いずれ寺を継ぐという。

14時半、バスに乗って帰る。兎に角「暑い・熱い・厚い一日」だった。お疲れさまでした。